

山齋集

十體章法

人物衣文

宋

鍾氏

筆法

人物筆法序

凡人物を画ス古人各心意派ありて轉変
ありて之を以て十種の間派ありて和
と其変化を以て相違ありて之を以て十種
中一曰錐畫点二曰圓斜点三曰遲速点四
曰急波点五曰岫雲点六曰秃筆点七曰暗過点
八曰正鋒点九曰顯露点十曰南路点以上十品也
是を以て大要とて之を以て二種の嫌あり
手裏に多しき人各人物を以て時を以て之を
以て十品の内一品を以て之を以て之を以て之を以て
古人の筆明を以て之を以て之を以て之を以て之を以て

一曰 鉅畫點

此非四馬極真の筆に之を面ふ鉅をみく
 益くより起る重かと怪るに 進迷をるに神く
 淨西ふきくハ丘文諸楊寧韋道豐僧貫休
 李祝 圖立注 圖立本 周防 吳道玄 韓求
 朱璠 等れ筆に之を和画はあつてゐるに
 其畫は此はを用ひてやうするやうに 此は人物
 ふふくすあなり筆画と定てゐる鳥獸花
 草草木水雪皆是より非画は之を
 寫生の用はるるに 端是より起りて之を
 變化して十種ありて生を翻するに法なり

一 非画點の事

此ふふくすあなり筆画と定てゐる鳥獸花
 草草木水雪皆是より非画は之を
 寫生の用はるるに 端是より起りて之を
 變化して十種ありて生を翻するに法なり



いふふくすあなり筆画と定てゐる鳥獸花
 草草木水雪皆是より非画は之を
 寫生の用はるるに 端是より起りて之を
 變化して十種ありて生を翻するに法なり

豐子愷

二箸斜點の當

少く書るは

明之



・ 三曰 遲速點

迹速點ハ深ムシテ僧月蓮陳不翁蘇
 淨長 李早等ハ筆ハ此筆法を以テ和朝
 小おもてモ周文宗ト云ハ可翁 叔書紀
 兆殿主筆の筆法ハ多ク見タル中此ハ最
 モ上樂家ハ此法又ク少ク 觀モて此ハ
 拙ハ未熟ハ者ハ乃チ筆法ハ此煉の後
 自ツツニモ巧クモ裏ハ出ル

三 遲速点の要

是ハ拙ト見ゆモ其乃筆法ハ此ハ最モ巧クモ
 以テ此ハ筆法ハ此ハ最モ巧クモ
 此ハ最モ巧クモ



筆のやこを
 びいふん立てかへ
 文字ふもてうらうと
 けりあまやが 似るる
 ひのふもてうらうと

四日急波點

此筆法ハ唐宋元の人皆習ふ別々ハ梁楷
 等和之 周文銀 之乃黃大癡 等の畫に多く
 又之より和蓋ハ周愷 玉樂 雅樂助 及び
 法橋 眞玄 等は筆法ありむ右風土の用
 筆なり 當世は用ゆふ人まれあり此に然
 は若夫の法をて十餘年をわたりて
 法ハ初め四画をまゝ 次と云は行と
 終と云と

筆法ハと

又法ハ

四急波點の圖



此筆法ハ筆れゆんと思ふ所までとるゆりて
 そのめをゆりてありまゝ行て亦く筆もたのこ

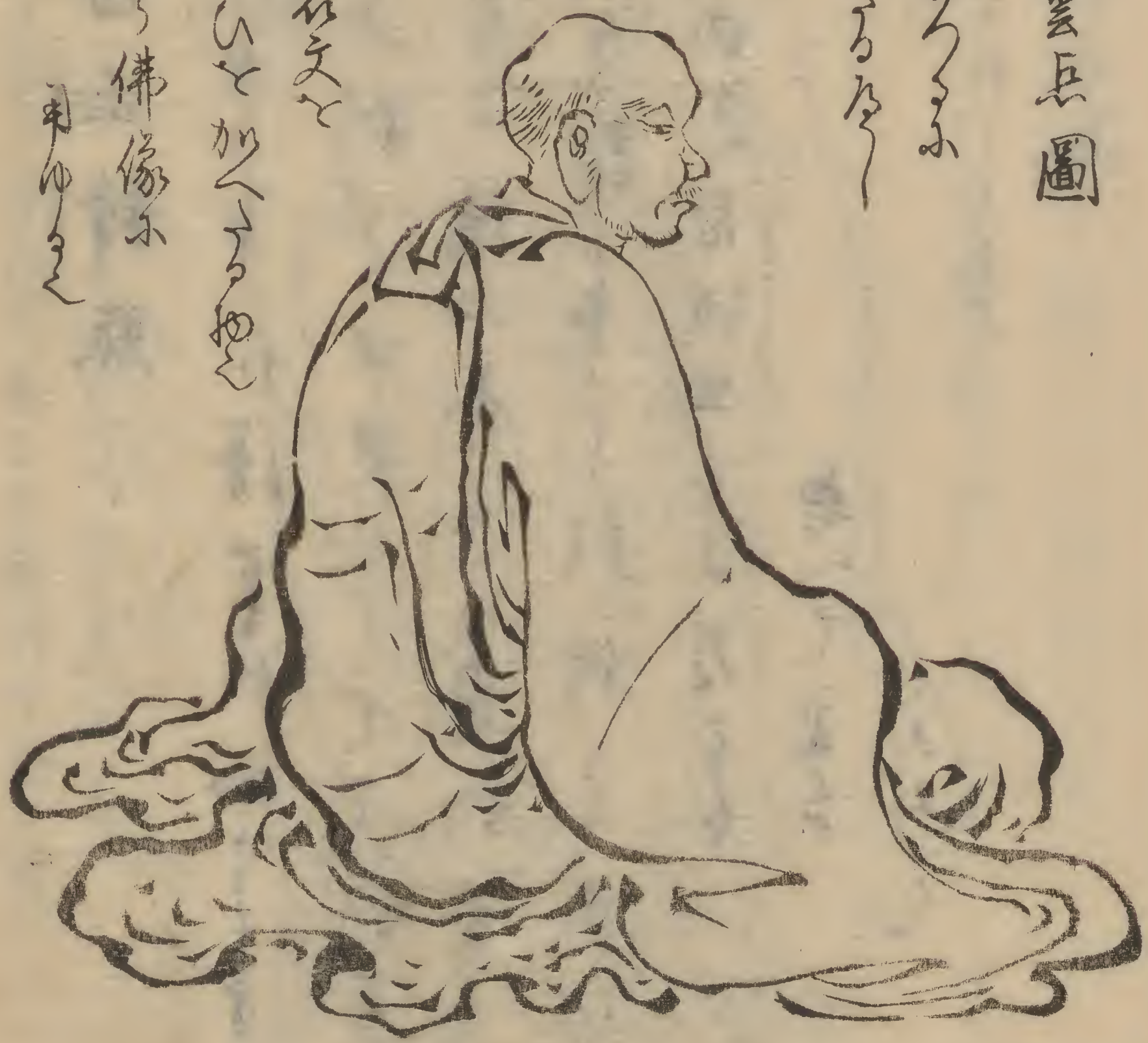
是夫の筆とハ新し

五曰岫雲點

此法亦和漢ごとも用由和少てハ惣て
 土雪狩も小月ゆ漢ハ無準ムニ秋月
 玉洞カニ吳道玄リ龍眠カサ曹弗真カニ禪月
 等なり衣文乃根雲の云ふあつらう
 似あをりて此筆は其名とらる也
 古今和漢ごともいへば用也

五岫雲長圖

此長を雲のつらふ
 似るれ小名あつらう
 かくて筆を



ゆくちの衣文で
 まてやういやくらあ

仏像ふ

用ゆ

六曰正鋒點

此正鋒は用る筆和得るに如く
六乃變化を別く中央うてまはさ
乃之趣のるゝ備ふまゝに真行草も
小此筆法を翻る金に似て用ひ
まゝ古人の名目紙出とよ乃をま

趣て用る

こゝろ

六正鋒点圖

筆のふさきとけりくきて
帝席の衣文を
こく



付る
行る

まはさるゝ一辨少くまをませくま行を
かやれりたるふの筆はねと十辨乃中央なり

・ 七曰暗過點

暗過點ハ第一の錯画長や第二の周斜長
 以て結合して行はふ錯一の家なり 尚ら諸
 家に用ゆる右五六七乃三品を以て書け法
 二一て通例をくをらゆふ是又用い
 ずる 右人の名目おるに別く古は眼は
 和漢の誤家のけは 明い無きと云ふ 若
 と 振掌 振るく一家のけと云ふ 故にす新乃
 けと云ふ 用いふと云ふ 事々 人物のま
 らと 忘本多歟 是は 倭にて筆法を用也

七暗過点の書



いふハ中二の周斜長と
 云ふは 中二の周斜長と
 云ふは 中二の周斜長と
 中二の周斜長と云ふは
 中二の周斜長と云ふは
 中二の周斜長と云ふは
 中二の周斜長と云ふは

この外
 あんたといふ

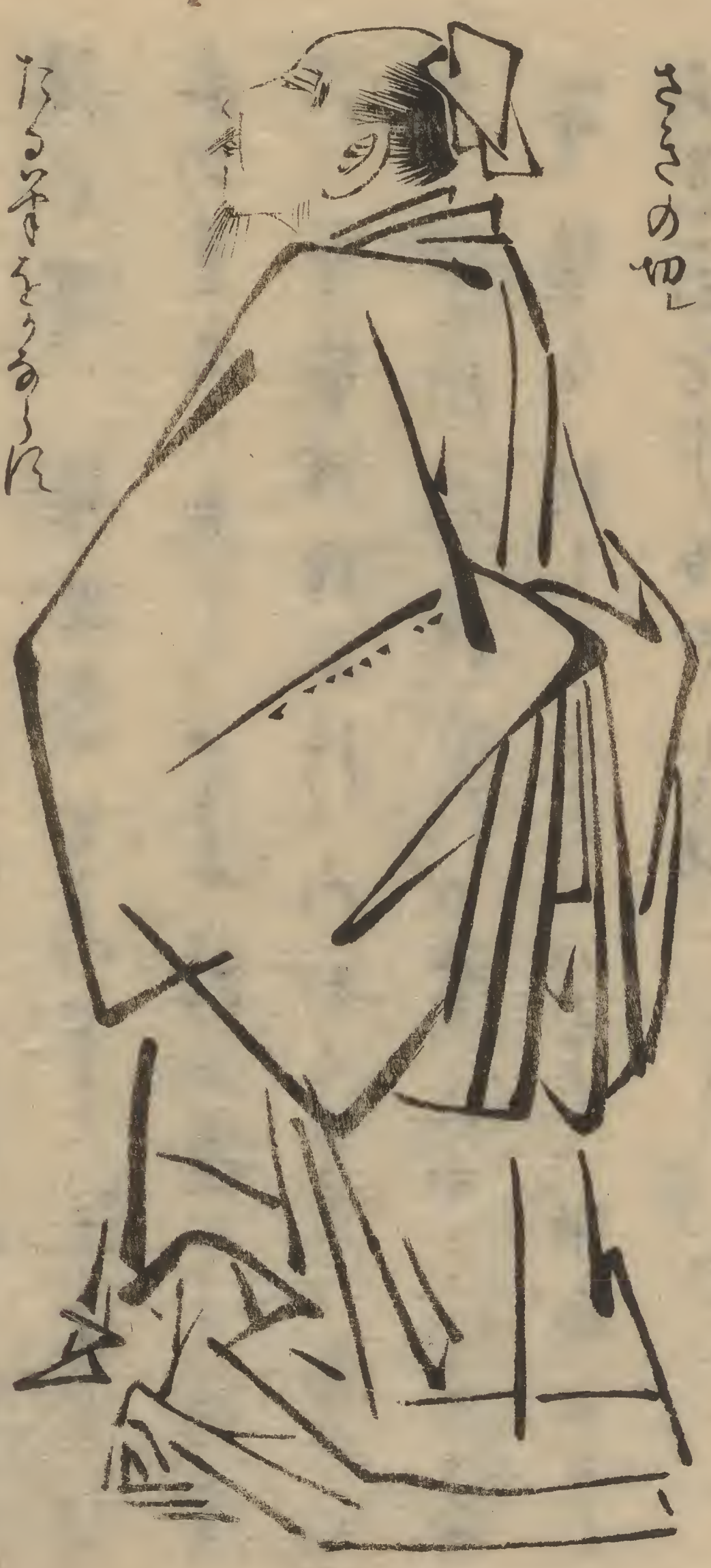
八曰秃筆點

是ハ秃^{チビ}筆のいさなりそ亦
和漢古今にハ一乃雖画法
と中六乃正鋒點と初々なり初々け
たふ又りじふ家筆とよりそ筆と
初々けふ家筆なり雷舟家将野家
乃ハ高流乃益家分端此法を考
画ハ毛末殊の人乃乃ハハハハ

筆に
より

ハ秃筆点

ハ筆ハおまゝよりゆゑとあり
ありてそく小行と
さゝの如し



はる筆をうゑに
用ゆるふあゝとらびる筆あゝとらびる
ふでのかゝとあゝとらびる筆あゝとらびる

とあゝとらびる

九日 顯露點

是を草うくたり和澤たふ用ゆる所を
 孫君澤 張思恭 号乃筆にまゐるたり
 水の草をハハくそふは是まゐの筆
 江ハ筆勢内みかこときとて
 如くけ 形露のはハ筆のゆくふまうせ
 筆勢をわけてふわくそく 形露より
 らまふとくはやまの
 師從たり 當代きいけを
 みる

九形露止番

筆の勢あゝく
 わりあゝく

筆ささ破きつあゝ
 けりあゝく
 あゝく筆の
 うゝあゝ



十日南路點

浮ホク小クくハ牧溪ボクセ玉タマ礪リ顔ガ輝キ卒ソウ翁ウ月山
 圖エ次ス平ヒ高タカ然ニ暉キ米イ元ゲン章ショウ等トウ雪舟セツシュ雪村セツムラ等トウ顔ガ雲溪ウンセキ氏
 和ワ小コかカわワてハ雪舟セツシュ雪村セツムラ等トウ顔ガ雲溪ウンセキ氏
 探幽タンユ永美エイミ主馬シュバ或ハ等伯トウハク友松ユウソウ等トウ
 此コノ法ホウをヲあアはハむムるル益エキのノ法ホウ破ハ筆ヒツ飛ヒ白ハク雪
 そソのノ病ヤマト多タくクといトくクもモ廿八九十三ニのノ内うちで
 此コノ葉ハ筆ヒツ刷ハ毛モウをヲ用ヨウひヒてテなナるルもモ皆みな此コノ法ホウにニ
 又またままハハ病ヤマトをヲいイくク行イハハあアらラるルもモ一ヒト葉ハをヲ
 一ヒトくクあアらラるル次ツギ手テ小コ意イ如ニ事コトをヲあアらラるル

十南路點のあ

其の筆ハ墨ハ濃淡とち
 やまらう一さきとちさきと
 ちとちとちとちとちとち







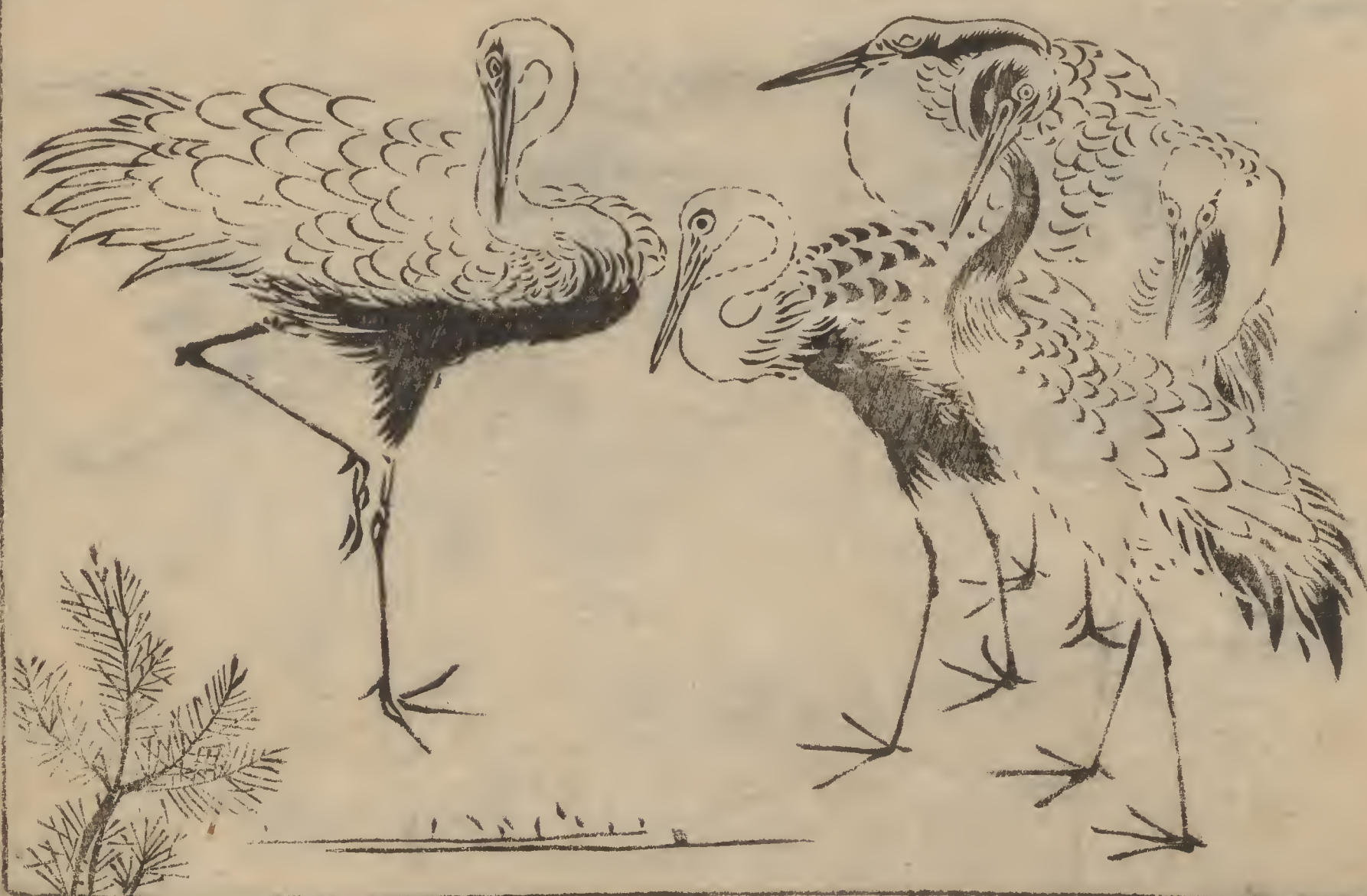


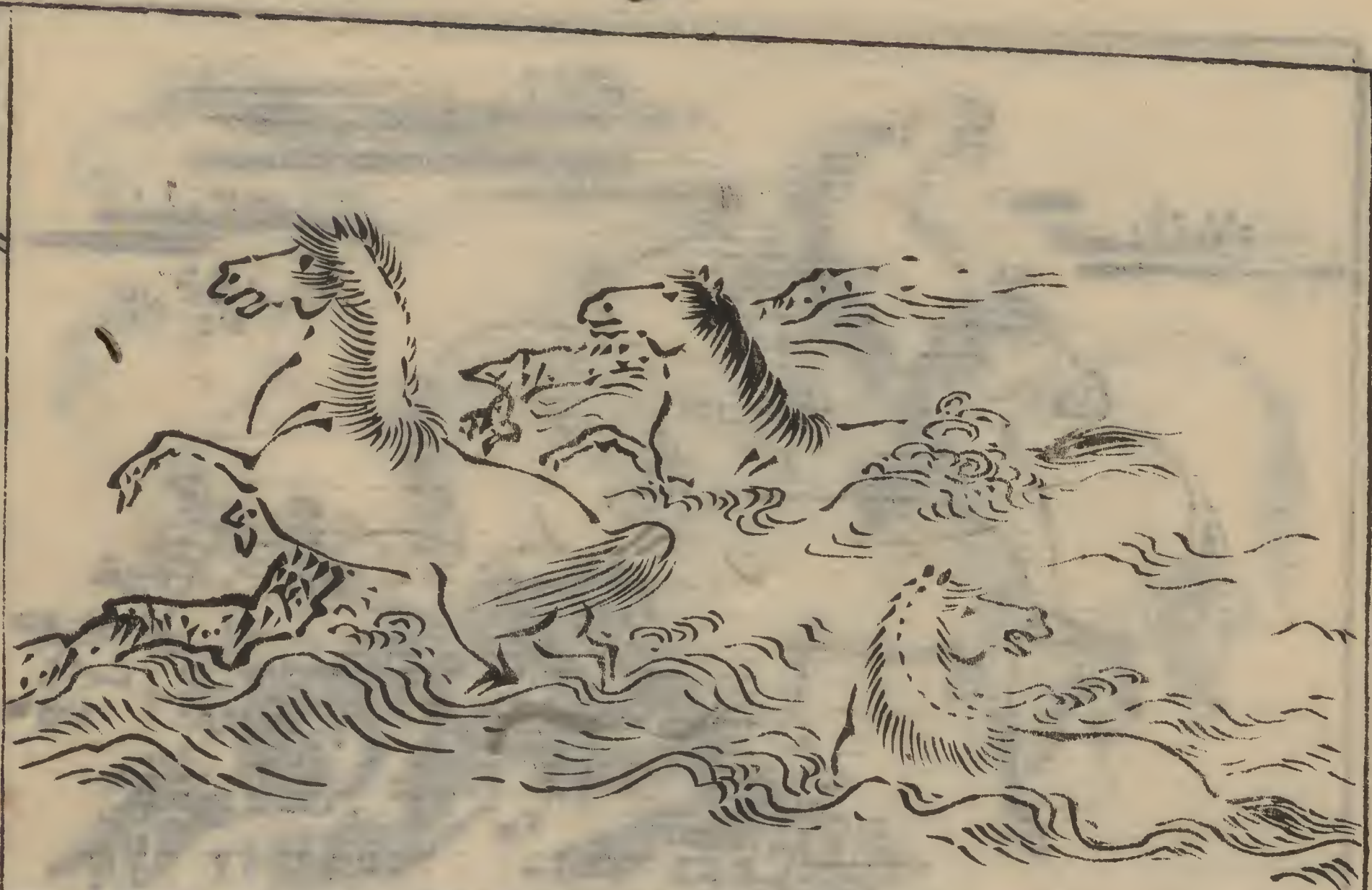


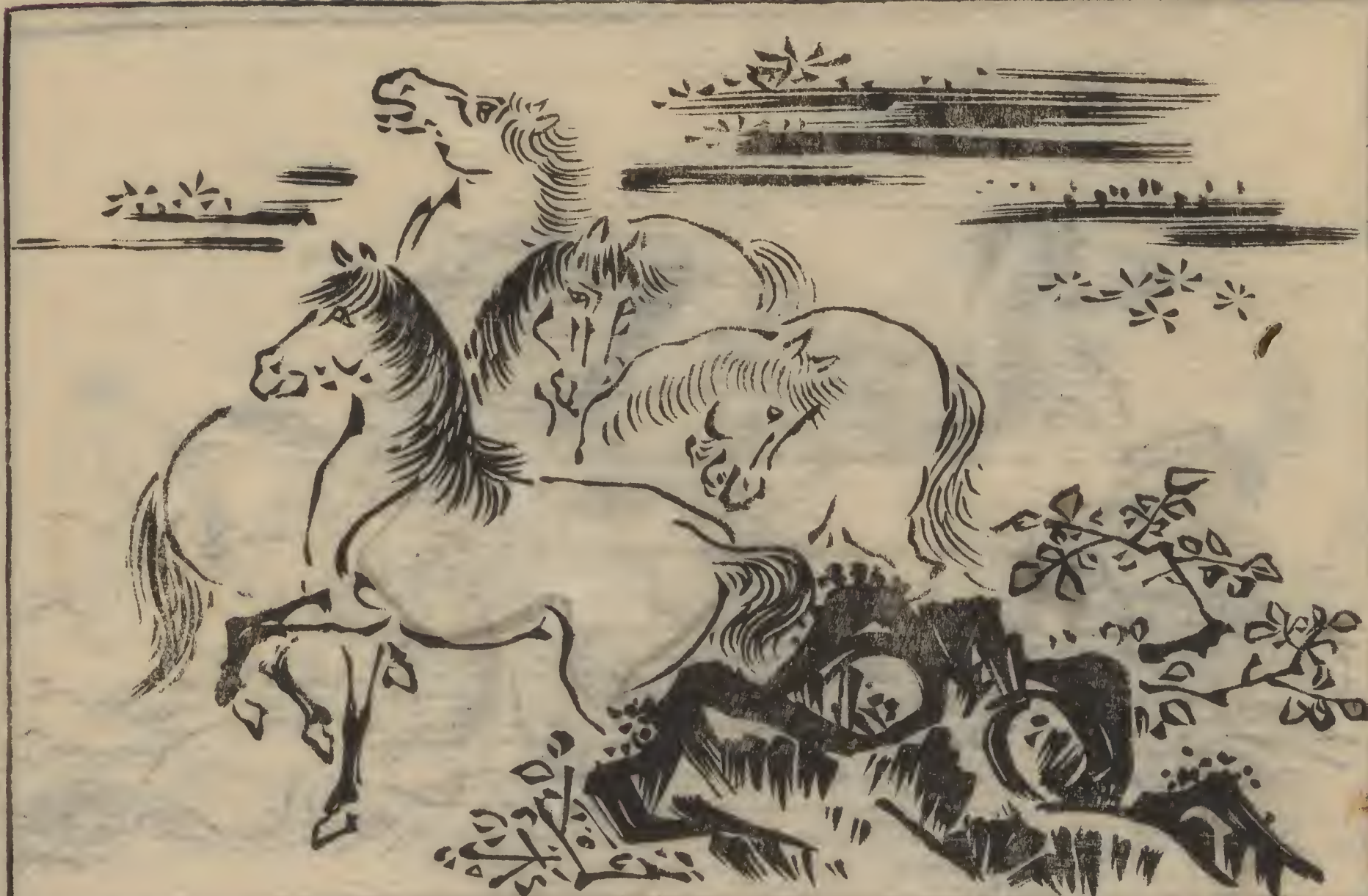
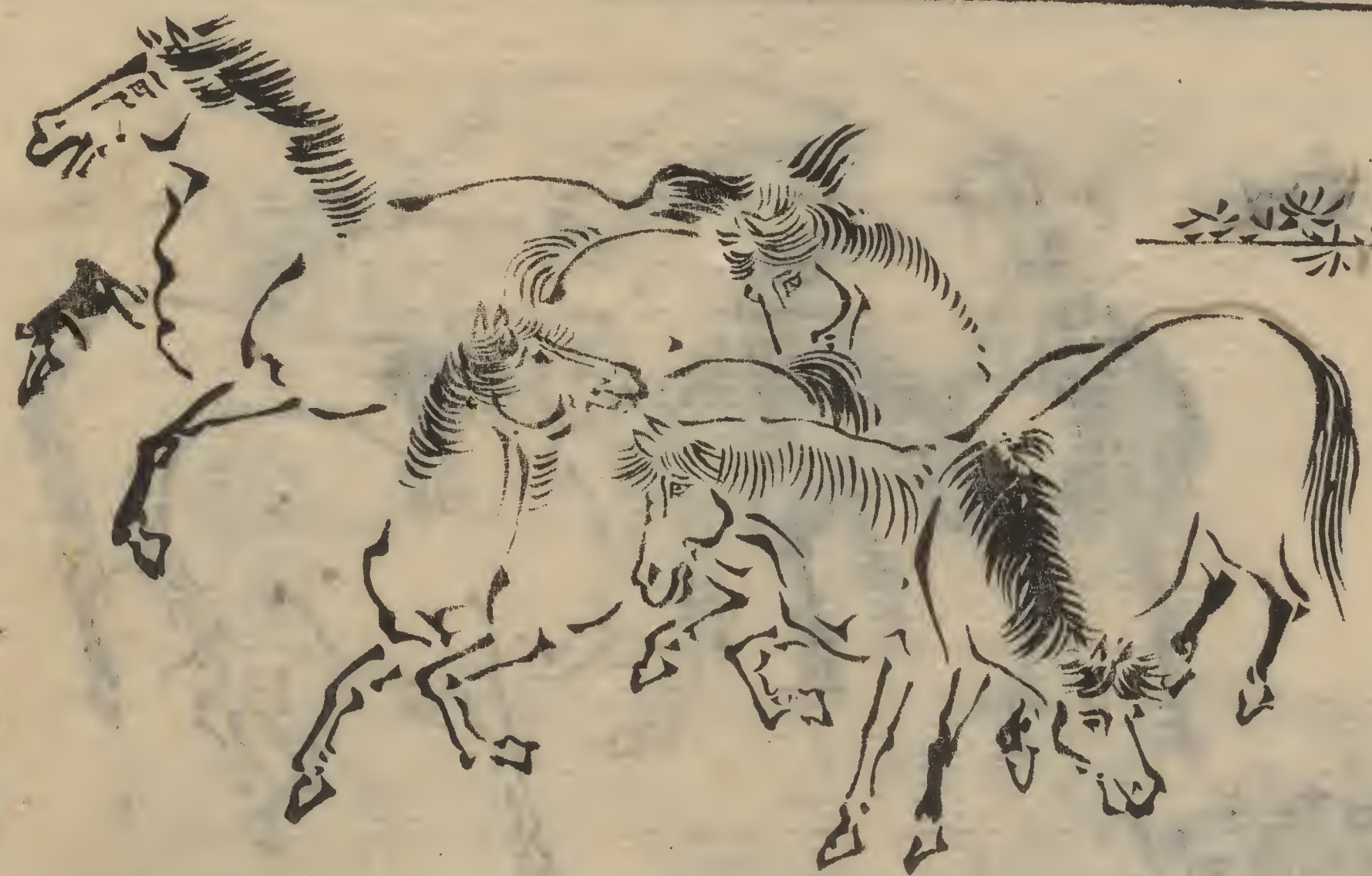












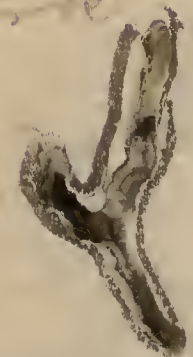




Tanager age 73

no. of horses 103

no. of stork 102



延寶二甲寅年五月日

法印探幽守信行歲七十三筆

馬數百三足



探幽法眼守信筆印

鶴數百二羽



歲時生

